**自分にとって大切なことば**

ことば、言語、コミュニケーション、身体、音、文化

ことば・言語についての学習を進めていく上で、ことば・言語を多面的に捉えておくこと、そして自分とことば・言語との関わり、また他者とことば・言語との関わりに気づくことは大切である。この教材は、ことばの学習、ことばをとりまく問題の学習を進めていく上での基礎教材としての使用が意図されている。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ねらい | ： | ・コミュニケーションの手段としてのことばが多様であることに気づく。  ・これまでの自分とことばとの関わりについて振り返る。  ・ことばとの関わりについて自分と他者との比較を通して、ひとりひとりがことばと多様な関わりをもっていることに気づく。 |
| 対象 | ： | 小学生高学年以上 |
| 所要時間 | ： | ３０分～６０分 |
| 準備 | ： | ことば、コミュニケーションへの関心を高めておく。  ワークシート「自分にとって大切なことば」を人数分準備する。 |
| 進め方 | ： | １．教師は「自分にとって大切なことば｣ワークシートを配布し、それぞれの項目について簡単に解説する。  ２．学習者は、今の自分にとっての大切さという視点から、９項目のことばをランキングする。（対象に応じて、必ずしもランキングにこだわる必要はなく、大切なもの３つを選ぶという方法も可能。）  ３．ランキングや選択の結果についてグループで全体で話し合う。 |
| 留意点 | ： | 「ことば」「自分にとって大切なことば」を多面的に感じ、考え、表現できるために、学習者同士が自分の状況にとどまらず他者の状況にも十分な関心を払えるような関係づくりに心がける。 |
| 発展 | ：た | とり上げた９項目の中から、いくつかの項目を個別に取り出し深めていくことができる。また９項目以外のことばについて意見を出し合うこともできる。 |

**＜ワークシート＞**

**自分にとって大切なことば**

**～ランキング～**

1. **準語　　　　　　　②ジェスチャー　　　　　　　③笑顔**

**身体表現**

**④英語　　　　　　　　⑤音･音楽　　　　　　　　　⑥方言**

**⑦その他の言語　　　　⑧アイコンタクト　　　⑨絵･造形表現**

**（＊ことば＝コミュニケーションのための道具・手段）**